

兵庫県神戸市

【テーマ】 **戦略的なインフラマネジメントを担う自治体の体制の確保** / スモールコンセッションの推進 / グリーン社会の実現 / その他（ ）
 【対象施設】 **道路** / 橋梁 / 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他（ ）
 【事業方式】 **コンセッション** / その他のPFI / **包括的民間委託** / その他（ ）

新しい街路樹点検手法の確立

近年、全国的に街路樹や公園の樹木の倒木事故が発生している。目視点検では内部の腐朽状況が把握できないことも多い。また、貫入抵抗や従来の音響波による点検では時間的、人的なコストがかかる。より迅速で正確に街路樹の幹内の腐朽状況を把握する手法を確立したい。

①解決したい課題

- 大量の街路樹を管理しているが、老朽化、大木化が進み、倒木や落枝の危険性が増し、安全の確保に苦慮している。DXを活用する等により、迅速で正確な点検を実施したい。
- 神戸市 人口：149万人、552.3km²
 六甲山系の山々と瀬戸内海に面した起伏に富んだ地形で、市域は、東西約36km、南北30km、六甲山系により北と南に大きく二分されている。
 六甲山系の南側に市街地が発展し、その後、六甲山系の北・西部において、住宅・産業団地および、そこへのアクセス公共交通網が整備され、市街地が島上に展開した都市構造となっている。
- 本事業の対象としたい公共施設等の規模・種別・用途等の概要：街路樹（高木）11万本
- 課題に関する取組状況、予算調整状況、今後のスケジュール等：街路樹（高木）について現在安全点検を進めているところ。それを受けて順次危険木の撤去を進める。今後も定期的な点検を検討している。

②課題解決の方向性等

- 現在取り組んでいる街路樹の安全点検は、令和7年度まで実施予定。今後、3年に1回程度の定期的な点検の実施も検討中。
- これまでは、目視を主体とした点検を実施していたが、内部の腐朽が把握できず、令和6年12月に市街地で倒木事故が発生した。
- これを受け、鋼棒貫入や揺れの確認、打診など、目視以外の項目も重視して点検を進めているが、大量の街路樹の点検には多くのコスト、人手がかかる。また、内部の状況を正確に把握することが困難である。
- 車によるパトロール中に音波を用いるなどして、街路樹の幹内の空洞化の状況を簡便に把握する手法を求めたい。



倒木事故の様子



幹内の腐朽、空洞化の事例

③課題解決のイメージ・効果

- より迅速、正確に街路樹の危険性を把握することができるようになり、道路の安全を確保することができる。

その他

- 全国的に同様の課題を抱えている自治体が数多くあると思われ、かなりの需要が見込まれる。